

(1) 小人ハカセの空とぶキューは、海の中のブラックバードのそくつにフワリとおりてきました。そして中から小人ハカセがおりてきたから

(2) フクメンたちはおどろいて、「やいッ、手向かいするか」「とんでもない。わしはミドリをむかえに来ただけだ。手向かいなどせんよ」「なに一ツ、こいつめー」

(3) ダダーン、ダーン。フクメンがピストルでうちましたが、タマは小人ハカセの体を通りぬけて、ハカセはハイキでわらっています。

(4) 「うわッ、キミのわるいじいさんだ。タマがあたつても平氣でわらつているぞ」「とてもピストルなどではかなわない」おどろいたフクメンは

(5) ブラックバードに知らせました。「何ッ、小人ハカセが来たと。よーしそれならミドリを牢屋からひっぱり出そう」

(6) 「さア、ミドリをしばってリューサンの井戸につるせ……えーいさわぐな」「あー助けて下さいー」泣きかけばミドリをしばりあげます。

(7) こちらは小人ハカセです。そうくつの中へはいって「フワリフワリ」といつのまにか足が宙にういてあるいています。それもそのはず、このタテモノのヤネの上のキューの中には

(8) もうひとりの本物の小人ハカセが居て、パイプをくゆらしながら「フフフ、立体テレビでおくつたわしのかげが、フワリフワリとあるいていく。やつらは立体映像とは気がつかないな。フフフフフ」

(9) 小人ハカセがムデンでおくつている立体像の小人ハカセは、フワリスリーといちばんおくへ来ました。「やアブラックバードさん、今日は。ミドリさんをかえして下さい。そこにつるしてあるのは何ですか」

(10) 「このツナの先にはミドリがつるしてあるのだ。小人ハカセよ、お前がコーサンしなければ、このツナを切つてミドリを下のリューサンの井戸へおとすぞ。そうなればミドリはやけてとけてしまうのだ」

原子人間⑯

(11) ミドリは気をうしなつてつるされています。下はテツをもとかすおそろしいネットのリューサンの池です。キリキリとツナが少しづつきらわれていきます。

(12) 「さアどうだ小人ハカセ、何とかへんじをしろ。ミドリがとけて灰になつてもいいのか。それ、あと少しでツナが切れるぞ…おいツ、へんじをしろ」果して…